

## ウリライン 10 ディップスライド

### Urine (URILINE)

尿検体の輸送および生菌数測定、腸内細菌の選択分離培地

#### 概要

ウリライン 10 ディップスライドはスライドの両面に下記の培地をコーティングし、蓋つきの容器に収められています。

- ・ スライド1: CLED 寒天培地(緑色)
- ・ スライド2: マッコンキー寒天培地(赤茶色)

本培地は尿検体(3, 5)を使用し、以下を可能にします。

- ・ CLED 寒天培地: 尿検体中の細菌の発育および生菌数測定を行います。
- ・ マッコンキー寒天培地: 腸内細菌を選択的に分離します

#### 原理

##### CLED 寒天培地:

乳糖の発酵分解性により乳糖分解菌と乳糖非分解菌を鑑別します。

乳糖分解菌は酸化反応により黄色コロニーを形成します。乳糖非分解菌は緑色、青色もしくは無色のコロニーを形成します。

##### マッコンキー寒天培地:

培地中に含まれるニュートラルレッド色の指示薬の色の変化により乳糖発酵菌の検出を可能にします。乳糖分解菌は赤色コロニーを形成します。乳糖非分解菌は無色または微かなベージュ色コロニーを形成します。グラム陽性菌は胆汁酸塩により選択的に抑制されます。

#### キット構成

REF56507 ディップスライド×10本

#### 組成(g/L)

##### 理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります:

##### CLED 寒天培地:

ペプトン(ウシもしくはブタ).....	8g
肉エキス(ウシ).....	3g
酵母エキス.....	2g
ラクトース(ウシ).....	10g
システイン.....	0.13g
プロモチモールブルー.....	0.03g
pH6.9 - 7.4	

##### マッコンキー寒天培地:

ペプトン(ウシもしくはブタ).....	20g
ラクトース(ウシ).....	10g
胆汁酸塩(ウシ).....	0.8g
ニュートラルレッド.....	0.075g
pH7.1	

#### 必要な器材

- ・ ふ卵器

#### 使用上の注意

- ・ *in vitro* 試験のみにおいて使用して下さい。
- ・ 熟練者が使用して下さい。
- ・ 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の

可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。

- ・ 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue: Approved Guideline - Current Revision» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition, または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- ・ 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- ・ 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- ・ コンタミした製品やスライド上に水滴が付着した製品は使用しないで下さい。
- ・ 性能試験は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- ・ 試験結果の解釈は、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡学的形態を考慮して下さい。また必要に応じて、その他の試験方法で結果を確認して下さい。

#### 保管方法

- ・ 箱未開封の状態、18-25°C下で有効期限まで保管可能です。
- ・ 温度の変化および乾燥を避けて下さい。

#### 検体

尿検体(2, 4)を直接培地に接種します。

採取や輸送に関しては GLP(Good Laboratory Practice)に準拠し処理して下さい。

#### 使用法

##### 検体の培養:

検体を受け取り後、すばやく培養を開始して下さい:

1. ボトルキャップをゆるめ、培地表面に接触しないようスライドを取り出します。
2. スライドの両面全体を尿検体に浸します。検体量が少ない場合は尿検体を培地両面にかけて下さい
3. スライド上の過剰な尿検体を取り除きます。
4. 吸収性のある紙を用い水分を十分に取り除きます。
5. スライドを容器に戻し、キャップを強く閉めます。
6. 添付のラベルに検体名など記入し、チューブの側面に張ります。
7. チューブを垂直に立てて、37°Cで培養します。培養温度は使用目的および最新の基準に従い、試験者の責任のもとに変更することができます。16-24 時間培養後結果判定して下さい。発育が見られなかった場合には発育速度が遅い細菌を検出するために、さらに培養時間を 24 時間延長して下さい。
8. スライドを容器から取り出し、結果判定して下さい。

#### 検体接種された培地の保管と輸送

接種された培養前の培地は 7-25°Cで保管及び輸送できます。培養より 24 時間以上前に菌を接種しないで下さい。

## 判定

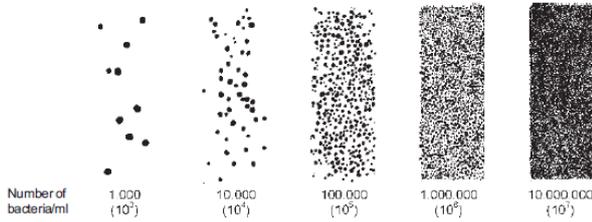
培養後、菌の発育を観察して下さい。

### CLED 寒天培地:

#### 菌数測定:

写真のコロニー密度と比較し、菌数を算出して下さい。

## 判定例



菌数/ml

<10 <sup>4</sup>	cfu/ml	正常
10 <sup>4</sup> ~10 <sup>5</sup>	cfu/ml	判定不能、再検査が必要
>10 <sup>5</sup>	cfu/ml	尿路感染の疑いあり

### コロニーの概観

乳糖分解(+) コロニー:黄色

乳糖非分解(-) コロニー:緑色、青色あるいは無色

### マッコンキー寒天培地:

全てのコロニーについて記録する

乳糖分解(+) コロニー:赤色

乳糖非分解(-) コロニー:無色もしくは微かにベージュ色

同定試験は必ず生化学性状もしくは免疫学的試験を実施して下さい。

## 品質管理

### プロトコール:

本培地の発育能力は以下の菌株を用い検証しています。

- *Escherichia coli* ATCC25922

### 期待される結果:

培地	菌株	33-37°Cでの結果	
CLED 寒天培地	<i>Escherichia coli</i>	24 時間後の発育	黄色コロニー
			赤色コロニー
マッコンキー寒天培地			

### 注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株の数、培養温度等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

## 留意事項

- 菌数が多いときには、培地表面が高密度の細菌に覆われ、コロニーを観察できない場合があります。培地上に菌が発育していないかのように見えるため、最初は反射光の下で判定して下さい。反射光がみられない場合には菌が高密

度に発育していることを示します。また非常に小さなコロニーが発育した場合でも反射光はみられません。

- マッコンキー寒天培地は選択寒天培地であるため、菌数測定には使用できません。
- 菌の発育は個々の菌株の栄養要求性により異なります。従って、特別な栄養要求性を必要とする菌株は発育しない可能性があります。

## 性能

### CLED 寒天培地:

室温での尿細菌の検出(1)

検体数: 140

感度: 100%

特異度 99%

レファレンス法: 定量白金耳とシャーレを用いた培養

## 廃棄処理

使用の有無にかかわらず、他の汚染廃棄物とともに、感染の危険性のある物質の廃棄方法に従い廃棄して下さい。廃棄産物や流出産物は使用施設の責任の元、それぞれの性質や危険性の度合いに応じて適切な規制に従い廃棄して下さい。

## 参考文献

1. ARNEIL G.C., Mac ALLISTER T.A., KAY P. - Detection of bacteriuria at room temperature. - Lancet, 1970 Jan. 17, vol. 1, n° 763, p. 119-121.
2. CLARRIDGE J.E., PEZZLO M.T, VOSTI K.L. - Laboratory Diagnosis of Urinary Tract Infections. Cumitech 2A, 1987 -ASM, Washington, DC.
3. COHEN S.N., KASSE. H. - A Simple Method for Quantitative Urine Culture. - N. Engl. J. Med., 1967, vol. 277, n°4, p. 176-180.
4. GILLE Y. - Diagnostic cyto-microbiologique des infectionsurinaires. - Rev. Inst. Pasteur Lyon, 1981, vol. 14, n°4, p. 509-533.
5. GUTTMANN D., NAYLOR G.R.E. - Dip-Slide: An Aid to Quantitative Urine Culture in General Practice. - Brit. Med. J., 1967, vol. 3, p.343-345.

(問い合わせ先)

製品関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

\*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

## ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>

 bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme  
69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



**BIOMÉRIEUX**